

新座駅北口土地区画整理審議会

駅前広場現地視察

東武アーバンパークライン 愛宕駅



東武アーバンパークライン 野田市駅

新座市 まちづくり未来部

新座駅北口土地区画整理事務所

視察の目的

新座駅北口駅前広場を整備するにあたり、近年に竣工した先進事例となる駅前広場の現地視察を行い、皆さまより様々なご意見をお聞きし、駅前整備の推進に向けた参考とすることを目的としています。

1. 日 程：令和7年8月22日（金）

2. 視察先：①愛宕駅西口（東武アーバンパークライン）

②野田市駅西口（東武アーバンパークライン）

3. 行 程：集合時間 12:50

集合場所 新座駅北口土地区画整理事務所 駐車場

13:00	新座駅北口土地区画整理事務所 駐車場	出発
↓		
13:15	新座市役所	出発
↓		
14:30 14:40	野田市 南部梅郷公民館	トイレ休憩
↓		
15:00 15:20	愛宕駅西口	ガイダンス、現地視察 20分程度予定
↓		
15:30 16:00	野田市駅西口	ガイダンス、現地視察 30分程度予定
↓		
16:20 16:30	野田市 南部梅郷公民館	トイレ休憩
↓		
18:15	新座駅北口土地区画整理事務所 駐車場	バス降車・解散

4. 注意事項：

- 当日は、バス移動による半日行程となります。
- バスの座席は当日のご案内となります。
- 当日は歩きやすい靴、動きやすい服装でお越しください。
また、天候によって帽子、日傘、雨具等をご用意ください。
気温が高くなることが想定されますので、熱中症対策をお願いします。
- 視察中に体調が悪くなったら、遠慮なく事務局にお知らせください。
- 天候等の理由で中止と判断される場合は、
当日の朝 9 時 00 分までに事務局からご連絡します。

事務局連絡先： 048-487-8380

新座駅北口土地区画整理事務所 播磨

受注者担当連絡先： 080-3420-6760

東日本総合計画（株）新座支店 関



東武アーバンパークライン 愛宕駅（夜）



東武アーバンパークライン 野田市駅（夜）



観光ガイドゾウキリン（新座市公式 HP より）

○デザインコンセプト

- ・駅舎は「江戸川を行き交い、地域交流と産業発展の役割を担った高瀬舟を取り込んだ駅」というテーマでデザインされた。
- ・駅利用者や地域の人々の交流空間となり、駅とまちを“つなぐ”結節点となる駅空間を演出するため、「地域の特性を生かした魅力ある駅前広場 ～新しく未来に向かってはばたく～」をコンセプトとした。

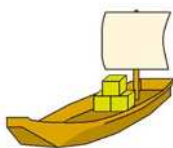
○基本情報

- ・駅前広場 面積：3100㎡
- ・駅乗降客数：10,146人/日(2024年度平均)

○交通施設

- ・身障者用乗降場 1台
- ・タクシー乗降場 1台
- ・タクシープール 4台

※現在、バスの乗降は駅前広場周辺の道路で行っている。



○プロジェクションマッピング

- ・夜間の修景として大屋根シェルターに季節の風物詩が投影されている。



お月見



紅葉

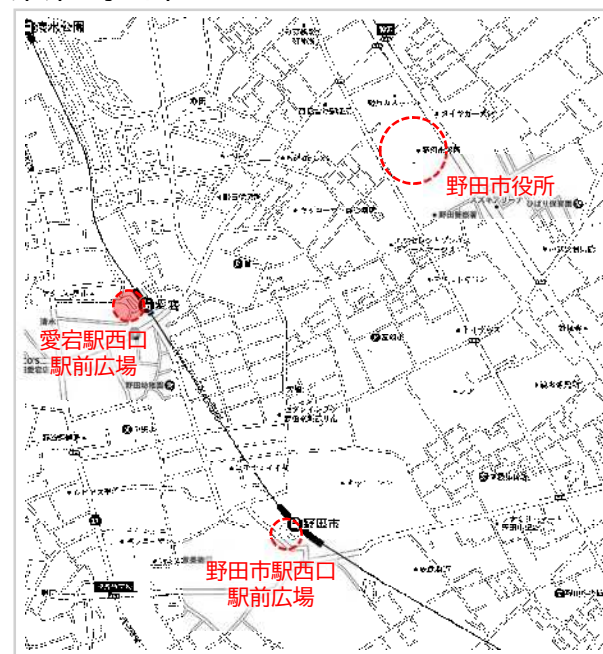
○駅前美術館

- ・壁面を活用し、市内小学校の児童が描いた絵画(屋外展示用に加工)を展示している。



事例紹介 ～愛宕駅西口～

場所：千葉県 野田市



位置図



愛宕駅西口 駅前広場 案内図

シェルター

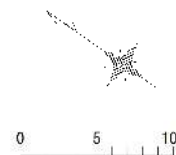
- ・屋根部分の素材はテント膜
- ・中央の大きな屋根が「大屋根シェルター」。
- ・夜間はプロジェクションマッピングを投影している。



愛宕駅 西口

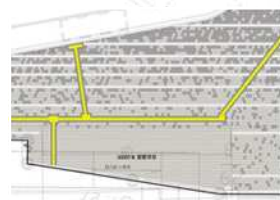
ベンチ

- ・環境にやさしいリサイクル木材を使用したベンチ。
- ・丸みを帯びたシンプルなデザイン。



案内板

- ・右：駅前広場全体を案内する案内板。音声案内付き
- ・左：身障者用乗降場に配置している案内板。
- タクシー乗降場にも案内板あり。



歩道舗装

- ・タイルの配置で自由通路（大屋根シェルター）を中心に町（の）方向に波紋が広がっていく様子を表現した。

大屋根シェルター

タクシー乗降場

身障者用乗降場

モニュメント

バス乗り場→



車道/歩道 照明灯

- ・シンプルで近代的なデザイン。

ヨークプライス野田店



植栽

- ・低木は野田市の「市の花」である「ツツジ」。



ボード

- ・連続して配置することで、歩道へ車が侵入することを防ぐ。



○デザインコンセプト

- ・駅舎は醤油醸造業発展の歴史を感じさせる「近代化産業遺構」がテーマでデザインされた。
- ・上位計画や地域のマスタープランに基づき、野田地域が近代に渡って発展してきた歴史に触れ、野田の玄関口にふさわしい、安全安心で快適なもてなし空間を形成するため、「野田市の伝統産業・歴史・文化に触れる空間づくり、もてなしを感じるデザイン」をコンセプトとした。

○基本情報

- ・駅前広場 面積：4500㎡（新座駅北口駅前広場と同等）
- ・駅乗降客数：9,014人/日(2024年度平均)



○交通施設

- ・バス乗降場 2台
- ・身障者用乗降場 1台
- ・タクシー乗降場 1台
- ・タクシープール 6台

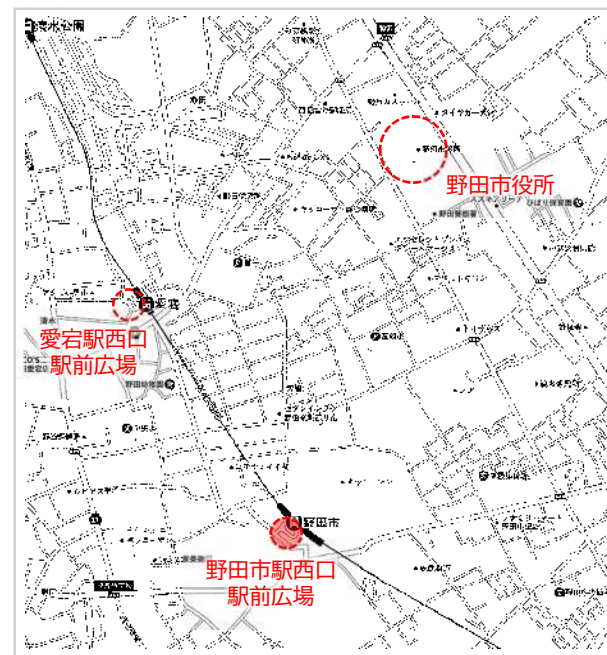
○イベント広場

- ・にぎわいがあり、もてなしを感じられ、露店やマルシェ、フリーマーケットなどに利用できる。



事例紹介 ～野田市駅西口～

場所：千葉県 野田市



位置図



野田市駅西口 駅前広場 案内図



シェルター

- ・屋根部分の素材はガラス。
- ・支柱は駅舎のデザインと調和するレンガ調。
- ・車の乗降時にも雨に濡れないよう、車道側にも屋根がある。



案内板

- ・右：駅前広場全体を案内する案内板。音声案内付き。
- ・左：バス乗降場に配置している案内板。身障者用、タクシー乗降場にも案内板あり。



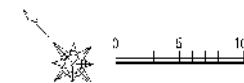
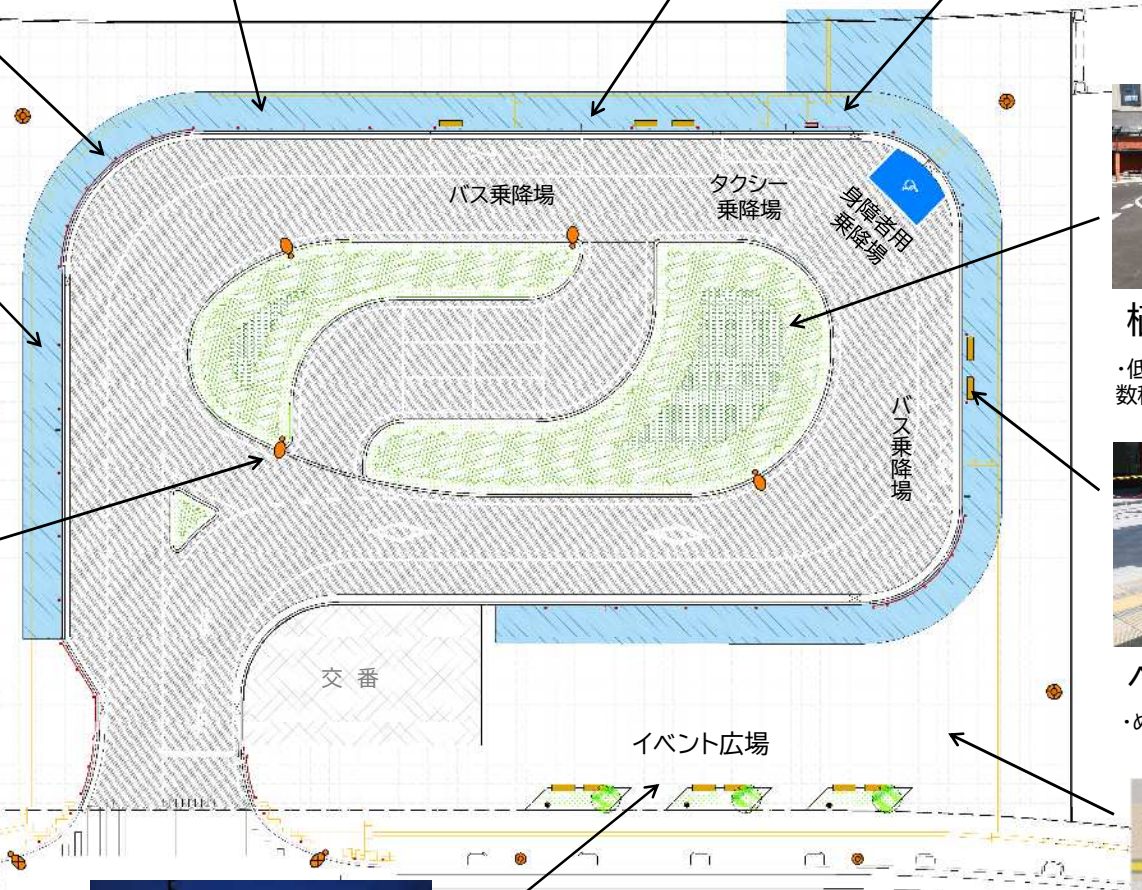
横断防止柵 /ボラード

- ・歩道への車の侵入や歩行者の横断を防ぐ。



歩道/車道 照明灯

- ・シンプルで近代的なデザイン。



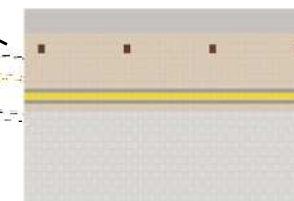
植栽

- ・低木は野田市の「市の花」である「ツツジ」を数種類植樹している。



ベンチ

- ・ぬくもりを感じられる人工木のベンチ。



歩道舗装

- ・歴史を感じさせる駅舎やシェルター等が主役となるようシンプルなデザイン。



イベント広場

- ・ベンチや高木(ハナミズキ)を3箇所配置。

